平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション　　上場取引所　東
コード番号 8025　URL http://www.tsukamoto.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 阿久津 和行
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役本部担当　(氏名) 小林 史郎　TEL 03-3279-1330

四半期報告書提出予定日　平成26年2月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	22,190	△12.3	377	△67.6	322	△71.2	481	△21.4
25年3月期第3四半期	25,296	△1.6	1,166	△21.1	1,121	△23.6	612	△54.5

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　769百万円　(△17.9%)　25年3月期第3四半期　937百万円　(△32.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	12.08	―
25年3月期第3四半期	15.44	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,102	9,659	32.1
25年3月期	34,833	14,186	25.8

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　9,659百万円　25年3月期　8,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	3.00	3.00
26年3月期	―	―	―		
26年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	△19.9	450	△64.4	350	△70.9	500	△21.2	12.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社アディスミューズ

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	40,697,476 株	25年3月期	40,697,476 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	830,938 株	25年3月期	1,018,372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	39,870,979 株	25年3月期3Q	39,682,360 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……2
（1）経営成績に関する説明……2
（2）財政状態に関する説明……3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明……4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項……4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用……4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……4

３．四半期連結財務諸表……5
（1）四半期連結貸借対照表……5
（2）四半期連結損益及び包括利益計算書……7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書……9
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項……11
（継続企業の前提に関する注記）……11
（セグメント情報等）……11
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、流通業界においても百貨店売上高が既存店ベースで２年連続のプラスとなるなど、景気回復に向けて上向きの動きが見られる状況となってきたものの、円安の進行によりコストに影響するリスクが更に高まるなど、構造調整の重圧が高まってきております。

このような環境下にあって当社グループは、現行の中期経営計画期間３年目の最終年度に当たり、着実な収益体制の確立と財務体質の改善を図り、グループの経営基盤の確立と安定配当の継続を基本方針として、今年度をスタートしました。

なお、第１四半期連結累計期間において、当社が保有する陳列用器具の賃貸業及び建物の賃貸業を行っていた株式会社アディスミューズの株式を譲渡したことにより、株式会社アディスミューズは連結の範囲から除外されました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は２２１億９千万円（前年同期比１２．３％減)、営業利益は３億７千７百万円（前年同期比６７．６％減)、経常利益は３億２千２百万円（前年同期比７１．２％減)、四半期純利益は４億８千１百万円（前年同期比２１．４％減）となりました。

セグメントの状況は以下の通りです。

〔和装事業〕

ツカモト株式会社及び市田株式会社における和装事業につきましては、新規催事の獲得に注力し、催事物流の効率化と流通在庫管理の改革に向けて検討を進めるなど一層の経費節減と業務改善に取り組んでおり、売上高は前年を下回りましたが、損益は黒字化しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は６２億３千１百万円（前年同期比２．８％減)、セグメント利益（営業利益）は５千９百万円（前年同期はセグメント損失３千５百万円）となりました。

〔洋装事業〕

ツカモトアパレル株式会社におけるメンズ事業につきましては、秋冬物の投入により損益は黒字に回復しましたが、受注額が減少しており売上高は前年を下回りました。

ツカモトユーエス株式会社におけるユニフォーム事業及びＯＥＭ・婦人テキスタイル事業につきましては、ユニフォーム事業は受注状況は改善しましたが、利益率の低下により増収減益となりました。ＯＥＭ・婦人テキスタイル事業は、売上高は前年を下回り、円安の影響により利益率が低下し損失が拡大しました。ツカモトユーエス株式会社全体としましては増収減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は７６億３千２百万円（前年同期比５．９％増)、セグメント利益（営業利益）は、２億４百万円（前年同期はセグメント利益４億３千万円）となりました。

〔ホームファニシング事業〕

市田株式会社におけるホームファニシング事業につきましては、売上高は第２四半期後半に新規出店したアウトレット直営店が寄与し増収となりましたが、損益は利益率の低下やロイヤリティー負担額の増加とアウトレット直営店の出店に伴う経費増の影響が残り、損失の計上となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は３４億６千７百万円（前年同期比７．４％増)、セグメント損失（営業損失）は８百万円（前年同期はセグメント利益２億６千３百万円）となりました。

〔健康・生活事業〕

ツカモトエイム株式会社における健康・生活事業につきましては、新規商材の販売が引き続き好調に推移し、増収増益となり、損益は黒字基調となっております。

以上の結果、当事業分野の売上高は４２億１千３百万円（前年同期比１６．７％増)、セグメント利益（営業利益）は５千９百万円（前年同期はセグメント損失９千９百万円）となりました。

〔建物の賃貸業〕

株式会社ツカモトコーポレーションにおける建物の賃貸業につきましては、新規テナントの誘致が進み、売上高は前年並まで回復しました。

なお、当社が保有する陳列用器具の賃貸業及び建物の賃貸業を行っていた株式会社アディスミューズの株式を譲渡したことにより、同社が第１四半期連結会計期間の期首より連結から除外されましたが、同社保有の賃貸物件は当社グループ内賃貸であったことにより、影響は軽微であります。

以上の結果、当事業分野の売上高は６億８千４百万円（前年同期比０．７％増）、セグメント利益（営業利益）は、２億３千４百万円（前年同期比２９．９％減）となりました。

〔その他事業〕

倉庫業は新規取引先の開拓が奏功し増収増益となりました。また、前年に研修センター運営事業から撤退した影響が残り、売上高は前年を下回りましたが、損益は黒字基調を維持しております。

以上の結果、当事業分野の売上高は４億８百万円（前年同期比２．２％減）、セグメント利益（営業利益）は２百万円（前年同期はセグメント損失３千１百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の資産の部では、子会社株式の譲渡による連結範囲の変更等により、現金及び預金が５億５千９百万円減少、受取手形及び売掛金が３億６千１百万円減少、たな卸資産が１億２千３百万円増加、その他の未収入金が７億６千９百万円増加したこと等により流動資産が９千６百万円の増加となりました。また、建物が１３億４千５百万円、土地が３０億８千３百万円、その他の長期性預金が４億円減少したこと等により固定資産が４８億２千７百万円減少し、資産合計は前連結会計年度末に比べ４７億３千１百万円減少し、３０１億２百万円となりました。

また負債の部では子会社株式の譲渡による連結範囲の変更等により、支払手形及び買掛金が１億７千４百万円増加、短期借入金が５億７千８百万円、未払金が１億７千６百万円、未払法人税等が１億７百万円減少したこと等により流動負債が８億５千６百万円の減少となりました。また、長期借入金の５億６千１百万円の増加等により固定負債が６億５千２百万円増加し、負債合計は前連結会計年度末に比べ２億３百万円減少し、２０４億４千３百万円となりました。

純資産の部では子会社株式の譲渡による連結範囲の変更等により、株主資本合計が３億８千７百万円増加し、少数株主持分が５２億２百万円減少したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ４５億２千７百万円減少し、９６億５千９百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は６７億１千９百万円で前連結会計年度末より６億９百万円減少、また、前年同四半期と比べ１０億１千１百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結会計期間における営業活動による資金の減少は、３千万円（前年同四半期は５千万円の増加）となり、これは主に貸倒引当金の減少額、有価証券売却益、固定資産売却益、及び売上債権及びたな卸資産の増加額が、税金等調整前四半期純利益、及び仕入債務の増加額の計上を上回ったこと等によるものであります。この結果、前年同四半期と比べて８千１百万円の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は、４億８千８百万円（前年同四半期は８億１百万円の増加）となり、これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出、及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出等によるものであります。この結果、前年同四半期と比べて１２億９千万円の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結会計期間における財務活動による資金の減少は、９千１百万円（前年同四半期は２億４千万円の増加）となり、これは主に長短借入金の返済による支出、及び配当金の支払額が長短借入れによる収入を上回ったこと等によるものであります。この結果、前年同四半期と比べて３億３千１百万円の減少となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済の状況は、景気回復の動きが見られる状況となってきましたが、流通業界を含む内需関連の業界においては、円安の進行がコスト高を招き構造調整の圧力が高まるなど、決して楽観を許さない状況が続いております。

このような状況下にあって当社グループは、現行の中期経営計画期間３年目の最終年度に当たり、各事業部門における既存事業による収益の安定化と成長戦略を進め、着実な収益体制の確立と財務体質の改善を図り、グループ経営基盤の確立と安定配当の継続を基本方針として対処してまいります。

連結業績予想としましては、現段階で平成２５年６月１０日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から修正は行っておりません。ただし、業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成２５年５月２７日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社アディスミューズの全株式を同社に譲渡することを決議し、同日付で同社との間で株式譲渡契約を締結いたしました。本契約に基づき、当社は、平成２５年６月１０日に、当社が保有する株式会社アディスミューズの全株式を同社へ譲渡いたしました。これにより同社を第 1 四半期連結会計期間の期首より連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,329	6,769
受取手形及び売掛金	5,935	5,574
有価証券	101	101
たな卸資産	2,866	2,990
繰延税金資産	26	―
その他	448	1,363
貸倒引当金	△35	△29
流動資産合計	16,672	16,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,619	2,263
土地	9,751	6,667
その他（純額）	305	261
有形固定資産合計	13,676	9,192
無形固定資産		
その他	127	93
無形固定資産合計	127	93
投資その他の資産		
投資有価証券	3,819	3,791
繰延税金資産	19	―
その他	750	325
貸倒引当金	△233	△70
投資その他の資産合計	4,356	4,046
固定資産合計	18,160	13,332
資産合計	34,833	30,102

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,980	6,154
短期借入金	6,617	6,038
未払消費税等	74	38
未払法人税等	240	133
繰延税金負債	16	17
返品調整引当金	63	38
その他	917	631
流動負債合計	13,908	13,051
固定負債		
長期借入金	3,750	4,311
繰延税金負債	1,929	2,146
再評価に係る繰延税金負債	14	14
退職給付引当金	366	337
役員退職慰労引当金	88	42
資産除去債務	20	20
その他	568	518
固定負債合計	6,738	7,391
負債合計	20,647	20,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829	2,829
資本剰余金	709	709
利益剰余金	4,882	5,244
自己株式	△124	△99
株主資本合計	8,297	8,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	671	954
繰延ヘッジ損益	7	9
土地再評価差額金	7	7
為替換算調整勘定	0	3
その他の包括利益累計額合計	686	974
少数株主持分	5,202	―
純資産合計	14,186	9,659
負債純資産合計	34,833	30,102

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	25,296	22,190
売上原価	17,582	16,259
売上総利益	7,714	5,931
返品調整引当金繰入額	61	38
返品調整引当金戻入額	83	63
繰延リース利益繰入額	－	2
繰延リース利益戻入額	0	0
差引売上総利益	7,736	5,955
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	347	411
旅費及び交通費	463	439
荷造運搬費	599	498
貸倒引当金繰入額	28	△86
給料	2,399	1,886
賞与	309	208
退職給付引当金繰入額	157	162
役員退職慰労引当金繰入額	4	1
福利厚生費	560	441
業務委託費	347	397
減価償却費	127	83
賃借料	175	206
その他	1,048	925
販売費及び一般管理費合計	6,570	5,577
営業利益	1,166	377
営業外収益		
受取利息	31	23
受取配当金	37	41
保険配当金	12	5
受取保険金	－	0
その他	49	30
営業外収益合計	130	102
営業外費用		
支払利息	138	123
手形売却損	12	7
為替差損	10	15
その他	13	10
営業外費用合計	175	157
経常利益	1,121	322
特別利益		
固定資産売却益	100	151
関係会社株式売却益	－	151
特別利益合計	100	303
税金等調整前四半期純利益	1,221	626

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
法人税、住民税及び事業税	420	88
法人税等調整額	－	55
法人税等合計	420	144
少数株主損益調整前四半期純利益	801	481
少数株主利益	188	－
四半期純利益	612	481
少数株主利益	188	－
少数株主損益調整前四半期純利益	801	481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	282
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	0	3
その他の包括利益合計	136	288
四半期包括利益	937	769
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	735	769
少数株主に係る四半期包括利益	202	－

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,221	626
減価償却費	244	160
有形及び無形固定資産除却損	8	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	23	△158
退職給付引当金の増減額（△は減少）	15	36
その他の引当金の増減額（△は減少）	△41	△25
受取利息及び受取配当金	△69	△65
支払利息	138	123
有価証券売却損益（△は益）	△4	△154
為替差損益（△は益）	10	15
固定資産売却損益（△は益）	△100	△151
売上債権の増減額（△は増加）	77	△594
たな卸資産の増減額（△は増加）	△413	△124
仕入債務の増減額（△は減少）	△522	538
未払消費税等の増減額（△は減少）	△36	△8
その他	△106	△256
小計	445	△36
利息及び配当金の受取額	102	96
利息の支払額	△141	△126
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△355	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	50	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△50
有形及び無形固定資産の取得による支出	△101	△240
有形及び無形固定資産の売却による収入	494	－
投資有価証券の取得による支出	△1	△15
投資有価証券の売却による収入	412	6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△97
貸付けによる支出	△1	△30
貸付金の回収による収入	2	－
その他の支出	△7	△62
その他の収入	4	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	801	△488

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,463	3,411
短期借入金の返済による支出	△2,957	△3,460
長期借入れによる収入	1,800	930
長期借入金の返済による支出	△2,000	△800
リース債務の返済による支出	△55	△52
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の処分による収入	－	0
配当金の支払額	△1	△118
少数株主への配当金の支払額	△8	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	240	△91
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,090	△609
現金及び現金同等物の期首残高	6,640	7,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,731	6,719

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成 24 年４月１日　　至　平成 24 年 12 月 31 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）	合　計
	和装事業	洋装事業	ﾎｰﾑﾌｧﾆｼﾝｸﾞ事 業	健康・生活事 業	陳列用器具の賃 貸 業	建物の賃 貸 業	計		
売上高									
外部顧客に対する売上高	6,409	7,204	3,218	3,610	4,217	377	25,038	258	25,296
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	10	0	12	302	325	159	485
計	6,410	7,204	3,229	3,610	4,230	679	25,363	418	25,781
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△ 35	430	263	△ 99	455	334	1,348	△ 31	1,317

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、研修センター運営事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,348
「その他」の区分の利益	△ 31
セグメント間取引消去	4
全社費用（注）	△ 155
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,166

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成 25 年４月１日　　至　平成 25 年 12 月 31 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	合　計
	和装事業	洋装事業	ﾎｰﾑﾌｧﾆｼﾝｸﾞ事 業	健康･生活事 業	建物の賃 貸 業	計		
売上高								
外部顧客に対する売上高	6,230	7,631	3,456	4,211	401	21,932	258	22,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	11	1	282	295	150	445
計	6,231	7,632	3,467	4,213	684	22,227	408	22,636
セグメント利益又はセグメント損失(△)	59	204	△ 8	59	234	550	2	553

（注）　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業等を含んでおります。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

第１四半期連結会計期間において、「陳列用器具の賃貸」及び「建物の賃貸」のセグメントに属する株式会社アディスミューズの株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。

これにより、前連結会計年度末における「建物の賃貸」のセグメント資産のうち、1,826 百万円がなくなりました。また、「陳列用器具の賃貸」のセグメント資産はなくなりました。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	550
「その他」の区分の利益	2
セグメント間取引消去	3
全社費用（注）	△ 179
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	377

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

４．報告セグメントの変更等に関する事項

平成 25 年６月 10 日付で当社の特定子会社である株式会社アディスミューズの全株式を譲渡したため、第１四半期連結会計期間の期首より連結の範囲から除外しております。これにより当社グループは「陳列用器具の賃貸」より撤退いたしました。

５．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。